



# し　　わ　　そう 志　・　和　・　創

厚東川中だより第12号  
宇部市立厚東川中学校  
令和8年3月19日

## 3年生23名の巣立ち ～第10回卒業証書授与式を挙りました～

校長 岡村 一利

3月7日(土)に令和7年度第10回厚東川中学校卒業証書授与式を実施しました。卒業生である3年生は23名でしたが、残念なことにインフルエンザ罹患等の理由により式に参加できない生徒がおりましたが、別途体育館や校長室で卒業証書を一人ひとりに授与しました。厚東川中学校からの巣立ちは様々な形となりましたが、一人ひとり決意を胸に力強く厚東川中学校を巣立っていきました。今年度の卒業生は第10回の節目の卒業生です。以前にもお知らせしましたが、地域の伝統である小野和紙を自分たちで漉き特別な卒業証書を作成しました。

当日は卒業式の門出をお祝いしようと、地域から多くのご来賓の方々のご臨席を賜ることができ、3年生の巣立ちを祝う素晴らしい卒業式であったと思います。卒業式における校長式辞ではお祝いの言葉として次のような話しをしました。卒業生の皆様のご健康とますますのご活躍をお祈りします。

二十三名の卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます。

皆さんは今日義務教育九年間の学びを終え、新たな世界へと羽ばたく時を迎えました。本年度は厚東川中学校創立十周年の記念の年度であり、皆さんは第十期の節目となる卒業生です。記念すべき創立十周年にあたり、今年度から卒業証書は小野地域の伝統である小野和紙で製作することとし、今一人ひとりに小野和紙で漉いた卒業証書を手渡しました。厚東川中学校は厚東・二俣瀬・小野の三地域からなる地域の学校であり、地域の伝統を継承していくこと、伝統を継承する人材を育成することは厚東川中学校の使命でもあります。皆さんにとっても、記念となる卒業証書が地域の伝統で創られることは、これ以上ない思い出になるかと思えます。どうか地域の伝統、厚東川中卒業生としての誇りを忘れないで欲しいと思います。

さて、皆さんは今日で義務教育9年間の学びを終えますが、学びはこれからもずっと続きます。高校・大学等上級学校への進学もそうですが、学びは就職してからも続きます。学びは単に知識を得ることとは違います。大切なことは知識を得ることと同時に、その使い方を学ぶことです。国語で学んだ漢字や文法、数学の一次方程式、二次方程式、社会で学んだ様々な歴史事象や理科の化学方程式やオームの法則、英単語等々、それを覚えた・分かったというだけでは何の意味もありません。それが私たちの生活とどんな風に繋がっているのかを考え、日々の生活で新たな学びで、そして仕事の場面で「得た知識を使う力」が必要になります。そして、「得た知識を使える力」のことを「智慧」と言うのです。皆さんの生きていく21世紀という世紀は、将来の姿を予想することすら困難な時代である言われています。昨今のAIに見られるような人工知能の発達、インターネットなど通信技術の発達、交通技術の発達による国境を越えた人の移動、国と国、民族や宗教、思想信条の異なりを原因とした対立など、世界はまさに刻々とその姿を変え、混沌として哀しみの連鎖は後を絶ちません。皆さんはこれから答や正解がない問題や場面に遭遇することになります。そんなとき、これまで学んできた知識をもとにして、周囲の人とコミュニケーションを図りながら、正解ではなくその時その場での「納得解」を導き出すことが求められます。そして、そんな困難な場面でこそ、「得た知識を使う力」「智慧」が必要となるのです。どうか、智慧ある人、常にアップデート出来る人となるために、これからの学びを続けてください。

これからの学びを続けるために大切なことを我が長州藩の偉人、吉田松陰先生が教えてくださっています。長州藩は西欧諸国に負けない新しい日本を作り上げる為に、薩摩藩と盟約を結び、江戸幕府の政治体制を一新し「明治維新」を成し遂げました。その明治維新で活躍する偉人を私塾で多く育てられたのが吉田松陰先生です。松陰先生は何よりも学ぶことの意味、そして志をもつことを大切にされました。松陰先生はこんな言葉を残しておられます。

「君子渴すとも盗泉を飲まず、志士は窮すとも溝壑を忘れず。」

原文の意味は「人格の優れた人は、どんなにのどが渇いていても、他人の井戸の水を盗んで飲むことはしない。志を高く・強くもつ人は、どんなに苦しい場面におかれても、志のために死んで棺桶がなく溝や谷に捨てられることを覚悟している」というものです。現代風に意味を読み取れば、「人格に優れた人は、自分がどんなに苦しく・困難な状況であっても、人の物を盗んだり法律・ルールを破ったりはしない。志を強くもっている人は、その志のために一人ぼっちになってしまったり、困難な状況に置かれることを覚悟していて、それでも決して志を曲げることはない」と私は理解します。松陰先生は「明治維新」という新しい世をつくることを志を強く抱かれていましたが、皆さんも知ってのとおり、安政の大獄にて29歳という若さでこの世を去られ、明治維新と明治の世を目にすることはありませんでした。しかし、先生の志を受け継いだ塾生たちの多くは、臥薪嘗胆、粉骨砕身の努力を続け明治維新を成し遂げていくのです。松陰先生が教えてくださる「志を高く・強くもつ」という気持ちや態度が二十一世紀を生きる皆さんにとって大切となることは言うまでもありませんが、この態度・姿こそ二年間厚東川中学校で学んだ「がんばり」と「やさしさ」の姿なのだとは私は信じています。

最後になりますが、卒業生の皆さん。これからの人生では穏やかな時ばかりではなく、時には雨風強く、波高くなる時もあるでしょう。つらく悲しく、眠れない夜もあるかもしれません。しかし、皆さんがこの厚東川中学校で学び培った力でどうか、力強く21世紀を生き抜いてください。皆さんの未来が幸多く、光に満ちあふれることを祈り、私の式辞とします。

## 地域伝統文化の継承 ～楮たたき・塵よりの体験！～

3月10日(火)・17日(火)に総合的な学習の時間での取組として、「楮たたき」「塵より」の体験活動を実施しました。小野和紙の紙すきは「旧小野中学校」において、地域伝統文化の継承として積極的に行われてきたものです。厚東川中学校においても地域の伝統文化継承としてその取組を継承してきました。そして先にも述べましたが、今年度の卒業生からは卒業証書を小野和紙で制作しており、1・2学年においては和紙が出来るまでの工程を体験する活動に取り組んでいます。

厚東川中学校は厚東・小野・二俣瀬の3地域から接続する地域の学校であり、地域の伝統文化を継承すること、地域の伝統を継承する人材の育成は学校の使命であると考えています。改めて原点回帰をし、なぜ小野和紙の体験活動をするのか？といった活動の意義を意識するとともに、地域の学校として「何をなすべきか?」「何ができるか?」を考え、充実した「生徒の学び」のための教育活動を展開して参ります。今後ともご指導をよろしくお願いいたします。



## 令和7年度の保護者・地域の皆様方のご支援に感謝

3月19日(木)に、1・2年生の修了式を終え、無事に令和7年度を終えることができました。保護者・地域の皆様方には、本校の教育活動に対して、様々にご支援を賜り感謝申し上げます。4月からは新しい1年生を迎え、令和8年度の「学び」が始まります。更に力強い『日本一「がんばり」と「やさしさ」あふれる厚東川中学校の創造』をめざし教育活動を推進して参りますので、ご指導・ご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。

## 令和8年4月の主な行事（予定）

1日(水)	年度始め休業(7日まで)	20日(月)	市中学校教育研究会(川上中)
3日(金)	ノ一部活動デー	21日(火)	内科検診、教育相談
6日(月)	ノ一部活動デー	22日(水)	全国学力学習状況調査(3年生)・ (※英語・質問紙) 教育相談、ノ一部活動デー
8日(水)	着任式・始業式・入学式 ※2・3年生弁当持参	23日(木)	全国学力学習状況調査(3年生)・ (※国語・数学) 県学力確認問題(1・2年生) 教育相談、ノ一部活動デー
9日(木)	給食開始・交通指導・集団下校・ 部活動紹介・ノ一部活動デー	24日(金)	教育相談、団長・副団長集会
10日(金)	学級役員任命式・成長測定・専門委員会	27日(月)	教育相談
13日(月)	教育相談(4/13~5/1)	28日(火)	眼科検診、教育相談、 第1回学校運営協議会
14日(火)	生徒集会、教育相談、部活動延長 ※水曜日時程	29日(水)	県西部卓球大会
15日(水)	歯科検診、教育相談、部活動延長 ※火曜日時程	30日(木)	全国学力学習状況調査(3年生)・ (※英語(話すこと))、教育相談、 ノ一部活動デー
16日(木)	運動会実行委員会、教育相談、部活延長		
17日(金)	PTA総会、学級懇談会、部活動懇談会		
18日(土)	市春季体育大会(バレー・卓球・ソフトニス)		
19日(日)	市春季体育大会(ソフトニス)		
20日(月)	教育相談、ノ一部活動デー		